

起業の夢実現へ決意

とやま未来塾開校式

県の「とやま起業未来塾」

は七日、富山市高田の情報ビルで本年度の開校式を行い、四期生三十二人が起業や新分野進出の夢をかなえようと決意を新たにした。財務や労務などの講義を通して実際の事業展開に役立てる。

名産会長の石井知事が「皆さんのチャレンジが富山や日本活性化につながればうれしい」とあいさつし、本年度

から塾長に就いた船久晴コーセル会長が「成功の度合いは流した汗と涙で決まる。ヒナにかえらない無精卵はいらない」と激励。二十四歳から六十七歳までの四期生一人一人が、観光アドウ園や産廃廃棄物のリサイクルなどの起業プランを説明し、夢の実現に向けて決意を語った。

塾生は十一月末までの半年間、「創業・新分野進出」「コミュニティビジネス」「地域づくりリーダー養成」の三コースで学ぶ。